

令和6年11月22日

保護者の皆さまへ

吹田市立佐井寺中学校

校長 大江 健規

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### ●国語科《概要》

【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力等】において全国平均を上回る。  
〈話すこと・聞くこと〉〈書くこと〉〈読むこと〉全てにおいて全国平均を上回る。

#### ●国語における成果と今後の改善点について

今年度全ての項目において全国平均を上回る結果となりました。無回答率も全国平均を下回っており、わからない問題に対しても、諦めず自分の答えを書くといった前向きな姿勢が表れています。

しかし、読むことの内容で「本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切な言葉を選択する問題」や「短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並び替える問題」では、全国平均よりやや下回っていました。

今後は、自分の考えを伝えたり、情景を描写したりする際の効果的な表現の工

夫や適切な文言の選択が身につくよう、授業の中で取り組んでいきたいと考えています。

### ●数学科《概要》

【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力等】において全国平均を上回る。  
〈数と式〉〈図形〉〈関数〉で全国平均を上回る。  
〈データの活用〉では、全国値をやや下回る。

### ●数学における成果と今後の改善点について

正答率においては、ほとんどの問題で全国平均を上回っています。

しかし、「複数の集団データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを見る問題」と「複数の集団のデータ分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかを見る問題」では、全国平均より下回っていました。

今後は、収集したデータ分布の傾向を生徒が主体的に考察できる教材を活用したり、様々な数学的表現を根拠として説明するような活動を取り入れたりするなど、生徒が興味・関心を持てるような身近な課題を設定し、系統的な統計的処理を数学的活動として経験できるような授業デザインを研究する必要があると考えています。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【学習環境・生活環境について】

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」の項目に、「当てはまる」と答えた人の割合が、全国平均を上回っています。また、「自分には良いところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目に肯定的に答える割合が毎年少しずつ上がってきており、全国平均よりもやや上回っています。これらのことから、お互いの違い、良さを認め合いながら学校生活を過ごしているのがわかりました。引き続き生徒の真面目で、一生懸命に取り組む姿勢を認め、生徒の良い部分を伸ばしながら、教育活動を行っていきます。「将来の夢や目標を持っている」に「当てはまる」と答えた生徒は全国平均を上回っています。

今後は、進路指導において、キャリア教育の視点を加味しながら、自分の将来について具体的な道筋をイメージしながら考えることができるよう、支援していきます。

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」「1, 2年生の時に受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか」の項目に肯定的な意見が、全国平均より下回っていました。

総合的な学習における地域人材の活用やI C T機器の効果的な利活用については、授業方法の工夫改善における課題として、研究を進めていきたいと考えています。

### 【教科・学習について】

「学校の授業時間以外に、普段一日あたり2時間以上勉強している(学習塾や家庭教師等での学習時間も含む)」と回答した生徒が、全国平均を下回っています。「1時間より少ない」「全くしない。」という生徒が全国平均より上回っています。「放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか。」という項目では、「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、S N Sを利用したりしている」が一番多く、続いて「学校の部活動に参加している。」が多いです。これらのことから学校以外では、勉強する時間よりも、S N Sや、動画などを視聴している生徒が多いことがわかりました。また、S N Sや動画などの視聴により、就寝時間が遅くなっている生徒もいるため、家庭での計画性のある自主学習や規則正しい生活習慣を身に付けられるよう指導していきます。

「新聞を読んでいますか」という項目では90%近い生徒が「ほとんど、または、全く読まない」と全国平均よりも多いです。新聞以外から様々な情報を得ていることがわかります。

## 3 今後の取り組み

佐井寺中学校では、生徒の力を信じ、生徒に「今の自分よりひとまわり大きな体験をさせられる」べく、授業や行事等、様々な教育活動において、可能な限り高い課題に挑戦していけるよう取組を進めており、粘り強く思考を重ね、自分なりの考えを持つという姿勢が無回答率の低さに表れてきていると考えています。

しかし、身のまわりにあふれる情報の中で、課題解決に必要な情報を取捨選択し、比較したり、傾向を深く読み解いたりするなかで、他者に説明したりする際に効果的に表現する力については課題が見られます。I C T機器の利活用も含め、子どもたちの学びを支えるためにも、さらなる授業方法の工夫・改善に取り組んでいかなければなりません。

生活面では、お互いの違いや良い所を認めあいながら過ごしている生徒が増えていると考えられ、各教科の学習へ取り組む姿勢についても、誠実で前向きな

生徒の姿が垣間見えます。

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、互いの意見・考えを聴き合い、学び合える授業を意識し、引き続き、学校全体で研究を進めていきます。

学びの素地を持っている子どもたちが、これからの時代に求められている主体的な学びを活用し、人生や社会に生かせる力を養うためには、保護者・地域との連携・協働が不可欠です。学校・保護者・地域が「目標やビジョン」を共有し、地域社会全体で子どもたちを育むことが求められています。

今後とも佐井寺中学校の教育活動に、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。